



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mrc.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-10-1  
三次グランドホテル  
例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/小根森 直子  
幹事/井上 幸三

●2019~20年度 国際ロータリーのテーマ



●2019~2020年度 三次中央RCスローガン

仲間とつながり、  
クラブに更なる輝きを

■本日のプログラム ゲスト講演/君田郵便局 局長 今田俊平様  
日本青年会議所 会計理事

■2月24日は天皇誕生日のため休会です

■次回例会日時 2020年3月2日(月) 12:30~

■次回プログラム ゲスト講演/プログラム委員会  
株式会社赤名酒造 社長 三島崇暁様

## ■第1290回例会記録

- 日時.....2020年2月10日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....小根森会長

## 聖火リレー

皆さん、こんにちは。2月に入りようやく例年並みの寒さを感じるこの頃ですが、7月24日に開会するオリンピックに向けて三次市でも準備に拍車がかかっています。

先日は聖火リレーについての集まりがあり、三次中央ロータリークラブにもボランティアの依頼がございました。ご存じの通り、広島県の聖火リレーの出発点である三次市では、5月18日午前10時に103歳のランナー富久正二さんと2016年リオデジャネイロパラリンピック自転車競技8位の川本翔太さん23歳がランナーとして走られます。

コースは三次もののけミュージアム前をスタートし三次本通りや三次市役所前を通過して三次駅に到着、そこから三次運動公園駐車場付近にワープして公園内の坂井義則さんのレリーフ前でゴールとなります。三次市内の小中学生は全員が授業の一環として参加しますし、生涯に一度かもしれないと、かなりの人出となります。ボランティアは沿道に立つての人員整理で、150人を予定されています。

今日、用紙を回覧しますので皆様是非お手伝い下さい。特典としてはまず、間近で聖火リレーを見

られること。そしてボランティアアウェアとしてTシャツ又はポロシャツが貰えること、チームコココーラ提供の東京2020聖火オリジナルピンが貰えることです。

富久さんは当クラブにも来て頂いて皆さんよくご存じですが、川本翔太さんはいかがでしょうか。

川本翔太さんは三次市出身で上下高校を出ておられます。幼少期に左足を切断されましたが、野球、幅跳びなど何でも積極的に挑戦されてきたそうです。NHKの人気アニメ弱虫ペダルに登場され有名になりました。トラック競技は時速60キロものスピードが出るらしく大変に迫力のある競技だそうです。5月18日には是非ボランティアとしてお二人を応援し、三次市を盛り上げましょう!

よろしく願いいたします。



## ■四つのテスト唱和.....中島清貴君

昨日、鍼のお師匠さんがいる姫路に鍼の研究会に行っていました。その中で、お師匠さんが言っておられました。ブツダの言葉ですが、「ものごとは心にもとづき、心を主とし、心によってつくり出される。もしも清らかな心で話したり行なったりするならば、福業はその人につきしたがう。—影がそのからだから離れないように」

これと同じように、四つのテストをいつも心に留めて行きたいと思います。

唱和

## ■幹事報告.....井上幸三幹事

- オリンピック聖火リレーボランティア調査表を回覧しております。
- ロータリー情報委員会より「ロータリーの友2月号の読みどころ」を配布しております。
- 奥田元宋・小由女美術館より「キスリング展」の案内がきております。
- ハワイホノルル国際大会の案内を回覧しております。
- 抜粋のつづり、ガバナー月信、ロータリーの友誌を配布しております。
- 平田和弘会員より、6月末までの休会届けが出されております。理事会で了承しました。
- 創立30周年記念誌委員会を2月14日午後3時よりロータリー事務所で行います。
- 今後の夜間例会の日程です。  
3/30、4/20、5/25、6/29

## ■出席報告.....大前委員長

### ●第1288回 1月27日

会員数	38名	Make-up	0名
欠席	3名	出席合計	35名
欠席者のうち欠席免除	2名	出席率	97.22%

### ●Make-up...

- 第1289回 本日の出席は38名中28名です。

## ■次年度幹事.....大井次年度幹事

第1回次年度理事役員会を本日19時よりグランドホテルで開催します。出席義務者の方はご出席ください。

## ■SAA.....杉谷SAA

- 会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 6,000円

今週の俳句 盛り上げよう！創立30周年

やつきこ  
八月子は 大きく育ち 三十年  
若かった チャーター変わらず 元気です  
記念樹の 檜の木3本 青葉照る

投稿：詠み人知らず

## ■プログラム.....ロータリー情報委員会

本日はロータリー情報委員会の例会です。

ロータリー情報委員会では、毎月発行される「ロータリーの友」誌の読みどころを配布とともに、私の素人目線、解りやすい、興味深い記事を皆様にご紹介しています。

この委員長をさせていただいてから始めて毎月、友誌を読んでおります。難しい記事も多いですが、とても勉強になる記事もありますので、ぜひ目を通して頂きたいと思います。

さて、本日は三次中央RCが今年度創立30周年を迎えるにあたり、創立から25周年までの周年行事と、過去の奉仕事業を、その事業以降に入会された方にも知っていただくため、写真を見ながら振り返ってみたいと思います。



ロータリー情報委員長  
瀧本喜文

## 過去の周年事業

1990 創立10周年記念事業

### 「榎の木」記念植樹

建設中の「みよし運動公園」内に、  
「榎の木」は生命力が強く、長寿樹と称し、樹齢約60年で大木に育ち、真鍮のプレートとして景観が豊かれています。そして「三次市の木」でもあります。  
植物のそばの石碑には、国際ロータリー認定伝達式、記念植樹1990.11.12.そして「四つのテスト」を刻印し、植樹しました。



創立記念植樹として建設中であった三次運動公園内に3本の榎の木を植樹。

そばの石碑には国際ロータリー認定伝達式、記念植樹1990.11.12.、そして「四つのテスト」の刻印

1995 創立15周年記念事業

### 三次市に車両を寄贈

三次市の中心市街地活性化事業に、放送設備付マツダファミリアバン1台を寄贈



三次市に新設された健康福祉課に、放送設備付のマツダファミリアバン1台を寄贈

2000 創立20周年記念事業

### 石像モニュメント寄贈

三次市が中心市街地活性化事業として整備した「出合いの広場」に石像モニュメントを寄贈。21世紀をイメージし、高さ2.1m、球体の黒い御影石は世界はひとつと、地球を表現し、下側には幸せが訪れる椅子。裏には「四つのテスト」、願いが叶う「誓いの鍵」網の設置



三次市が中心市街地活性化事業として整備した、消防署前の「出合いの広場」に石像モニュメントを寄贈。21世紀をイメージし、高さ2.1m、球体の黒い御影石は世界はひとつと、地球を表現し、下側には幸せが訪れる椅子。裏には「四つのテスト」、願いが叶う「誓いの鍵」網の設置



### フィリピン・マグアン村の子どもたちに教育資金援助

世界社会奉仕WCSのプロジェクトとして、フィリピンの国際ロータリー地区202地区がワンツウワンツウロータリーから、フィリピン・ミンダナオ州マグアン村に3才以上の子どもが学ぶ教室建設について援助があり、教室の建設と教材の購入費、そして新しい教師も雇用して、合計約115万円を115万円で寄贈。  
この村の住民大多数は、教育を受けず、また、学校で働く収入の少ないため、子どもたちが学校に通う必要のある状態です。



世界社会奉仕WCSのプロジェクトとしてフィリピンマグアンダウンタウンRCから、ミンドロ島マグアン村に3才以上の子どもが学ぶ教室建設の要請。この村の住民大多数は教育を受けたことのない人々で、僅かな収入を得るためにきつい労働に励む農民で子どもを学校に通わせる余裕などなく、その住民の子どもたちのために、教室の建設と教材の購入費、新しい教師を雇う資金として約115万円を寄贈。その後視察に行く。

2005 創立25周年記念事業

### 三次市が建設した「奥田元宋・小由女美術館」内の日本庭園と茶室の建設資金300万円を寄贈

三次市が建設した「奥田元宋・小由女美術館」内の日本庭園と茶室の建設資金の一部として、2004年に行った国際ロータリー創立100周年記念事業として100万円の寄贈、2005年当分の創立15周年記念事業として300万円の寄贈しました。



奥田元宋・小由女美術館二階に日本庭園と茶室の建設資金の一部として2004年に行った国際ロータリー創立100周年記念事業として100万円の寄贈、2005年当分の創立15周年記念事業として300万円寄贈しました。

2010 創立30周年記念事業

### 三次市のみよし運動公園に「ガイドマップサイン」と「イベント案内掲示板」を寄贈

創立30周年記念事業として、みよし運動公園の中心市街地活性化事業に「ガイドマップサイン」と「イベント案内掲示板」を寄贈。2010年12月に寄贈式を行い、2011年1月に設置された。これは公園一帯が市民の憩いの場となるよう、また三次市のシンボルとして多くの観光客を迎え、地域活性化の一助になることを願って設置されました。



みよし運動公園南側駐車場、ワイナリー前に「ガイドマップサイン」航空撮影した公園周辺施設の大きな写真と各施設の写真をとりつけ、傍らにはイベント案内掲示板の設置。これは公園一帯が市民の憩いの場となるよう、また三次市のシンボルとして多くの観光客を迎え、地域活性化の一助になることを願って設置されました。

2015 創立35周年記念事業

### 奥田元宋・小由女美術館に茶室庭園の「腰掛待合」を建立

奥田元宋・小由女美術館に、茶室庭園の「腰掛待合」を建立。桁2.7m、梁1.7m、高さ2.6m。片面に5人着座。棟梁は三次の鶴飼鶴舟を建造継承されている方にご尽力いただき、素材や造りにこだわり、西面と東面と両面に腰掛がある、大変珍しい腰掛待合となりました。奥田元宋・小由女美術館の目指す美術、芸術文化の振興拠点としての役割の一助になることを願って寄贈しました。



奥田元宋・小由女美術館に、茶室庭園の「腰掛待合」を建立。桁2.7m、梁1.7m、高さ2.6m。片面に5人着座。棟梁は三次の鶴飼鶴舟を建造継承されている方にご尽力いただき、素材や造りにこだわり、西面と東面と両面に腰掛がある、大変珍しい腰掛待合となりました。奥田元宋・小由女美術館の目指す美術、芸術文化の振興拠点としての役割の一助になることを願って寄贈しました。

奥田元宋・小由女美術館の茶室庭園に「腰掛待合」を整備し、三次市に寄贈。桁2.7m、梁1.7m、高さ2.6m。片面に5人着座。棟梁は三次の鶴飼鶴舟を建造継承されている方にご尽力いただき、素材や造りにこだわり、西面と東面と両面に腰掛がある、大変珍しい腰掛待合となりました。奥田元宋・小由女美術館の目指す美術、芸術文化の振興拠点としての役割の一助になることを願って寄贈しました。

## 過去の奉仕事業



2006～07年度の奉仕プロジェクトとして、「地球環境保全」を掲げその一環として「ストップ・ザ・黄砂」のテーマのもと、十数年にわたって中国のゴビ砂漠で植樹ボランティアを実践している、三次青陵高校の実体験の発表や、地球乾燥地研究の第一人者である 農学博士船永先生の講演会を実施。「砂漠化防止」を主体に「一粒の黄砂」でもストップさせることができないかとの高橋会長の熱い思いで、黄砂が発生する中国内モンゴル自治区フフホト市を会員8名で訪れ、杏の木400本を植樹しました。また、飲料水に困っている農家6軒に雨水を溜める水窟建設費の支援をし、あわせて視察を行いました。またフフホト市役所へ表敬訪問を行いました。



社会奉仕の一環として、地域の緑化とその環境整備を目的に、三次市のシンボルである尾関山公園一帯に「イロハモミジ」50本を植樹しました。植樹にあたっては、三次中央RC会員、家族はもとより、三次青陵高校の先生、生徒、観光協会、三次市他、70名近い多くの皆様の参加とご協力を頂きました。



きんさいスタジアムの外野席を囲む約300mのmyさくらロード沿いに公募した市民や会員約220名でソメイヨシノ桜65本を植樹した。苗木には参加者それぞれの思いが記されたメモリアルメッセージプレートを取り付けた。以後、定期的に管理を行っている。



環境と食育を通して青少年の健全育成を目的に、市内の小学生にエコ活動を実践してもらい、その成果を発表するとともに元環境大臣齊藤鉄夫先生に講演していただき、体験発表に講評を頂いた。また、地産の食材を用いた「芋煮会」で食について関心を高めた。

健康について考えてみましょう



「おいしい減塩グルメin三次」と題して、講師に医学博士の日下美穂先生をお招きし、約230名の参加者で盛大に開催した。減塩食が広まれば生活習慣病予防、医療費削減につながるなどの内容と、当日は家庭の味噌汁の塩分測定や血圧測定などを行い、減塩レシピをプレゼントするとともに、実際に減塩で作った料理を試食して頂いた。

## ブランコの付いた滑り台を寄贈



花壇にスイセンの球根を植えるなどの交流会を行いました。会場は、無料で遊んでいる子どもたちが、この遊具もスイセンの

「社会奉仕プロジェクト」として、新築移転されたばかりの「子鹿医療療育センター」に、通っている児童の皆さんが遊べる遊具がない状況を知り、子どもたちの楽しく潤いのある生活に貢献できればとの思いで、ブランコ付き滑り台の寄贈と、施設の庭に「希望の花」とよばれるスイセンの球根を植える交流会を実施した。



広島県管理道路の一定区間の清掃・緑化活動に認定される、マイロードシステム「道の里親」に登録し、サングリーンから中国電力までの舗道の清掃や、街路樹の根元に花を植栽する美化活動を2001から2008までの7年間で18回行いました。最初は会員・家族で行っていた作業も、後に駅前商店街組合や、自治組織とも連携し、活動の輪を広げました。

これらの他にも、職業奉仕として各職業知識を活かした「なんでも無料相談会」の開催、米山奨学生の受け入れ、青少年交換留学生の受け入れと派遣、きんさい祭におけるポリオプラスの募金他いろいろな奉仕活動を行ってきました。

■点鐘……………小根森会長